



しろっこだより

赤穂市立城西小学校

〒678-0244

赤穂市城西町41番地

TEL 0791-42-0698

文責：北里 浩士



6月1日（土）には、「運動会」が実施される予定です。

さて、保護者の皆さんは、子どもの頃、「運動会」について、どのように考えていましたか？「運動会当日が楽しみだった」「とても緊張していた」「恥ずかしかった」「走るのが苦手だった」「組体操がよかった」等…、いろいろな思いがあることと思います。私自身は、「とても緊張していた」記憶があります。特に、徒競走やリレーでは、「転んだらどうしよう…」「負けたら嫌だな…」「リレーで抜かれたら、みんなからおこられるかも…」等、いろいろと不安な気持ちがあったように思います。今でも、集団（で競う）スポーツは、「ミスをしたらどうしよう……」という気持ちが生まれて、少し苦手です。

でも、子どもの頃の不安な気持ちは、無駄ではなかったように思います。大人になってから、相手の気持ちを考える「心の財産」になったように思います。

今週末は、「運動会」です。

今週末は、「運動会」です。

表現運動では、体育館で一つ一つの細かな動きを覚え、いよいよ本番のように、運動場で全体の動きを身に付けていきます。子どもたちは、先生方の話をよく聞いて、一生懸命に演技の流れをつかもうとしています。

「運動会」の練習では、個人の動きをマスターすることも、一つの課題ではありますが、もう一つ大切な学びがあります。それは、「全体の動きに合わせていくこと」です。「周囲を見て」「音や空気を感じて」「動きに合わせていく」ことは、簡単なことではありませんが、子どもたちの大きな成長となります。練習で疲れて帰宅することもあるかも知れませんが、毎日がんばっている子どもたちへのお声かけをお願いいたします。



<すのき広場のこいのぼり>



<運動会練習の様子>

【日本で最初に行われた「運動会」】

日本で最初に行われた「運動会」は、定説によれば、1874年（明治7年）3月21日、海軍兵学寮で行われた「競闘遊戯会」とであるとされています。海軍兵学寮は、1870年（明治3年）に創立された海軍士官の養成所です。

当時の海軍兵学寮における授業は教室に座って学ぶ座学ばかりであったようです。というのも、当時の日本にはスポーツという概念がほとんどなく、体育の授業は馬術や武道だけで、身体を動かす機会が少なかった…とされています。

（裏面に続きます）

5月23日（木）の給食

下の左側の写真は、今から50年前（1974年）の給食の画像です。メニューは…、

①牛乳 ②パン ③マーガリン ④鯨肉のノルウェー風 ⑤みかん です。

※鯨（くじら）肉…今ではなかなか口に入りませんが、この頃は週に2回くらい出ていたように思います。

この50年前あたりが、給食の分岐点となります。それまでは、毎日が「パンの日」でした。地域によって違いますが、私の学校では、「食パン」と「コッペパン」が交互に出てきました。しかし、1975年頃からは、徐々に、給食に「ごはん」が導入されるようになりました。（お米の消費量を増やすことが目的だったのかも知れません。）ごはんにあったメニューが提供されるようになりました。

下の右側の写真は、5月23日（木）の給食の画像です。ちなみにメニューは…、

①牛乳 ②パン ③ポトフ ④ハンバーグきのこソース ⑤カラフルサラダ です。

品数は、50年前と変わりませんが、中身は、たいへん充実しているように思います。

赤穂市学校給食センターの方に聞いてみると…、

- 「（栄養価は高いが）子どもたちが苦手とするような食材」を、
いかにして入れていくか…。
- 材料の価格を考えながら… ○残食が少なくなるように…
- みんなが楽しく食べられるように…
このような思いを込めて、メニューを考えられているようです。

給食センターの皆様、いつもありがとうございます。



<昭和49年(1974)頃の給食>



<令和6年5月23日の給食>

【「食べもの」に関する ことわざ】

●「桃栗三年柿八年」（ももくり さんねん かきはちねん）

<意味>どんなことでも、成果が出るまでには、長い年月が、かかるということだ。

<解説>桃と栗の木は、種を植え、芽が出てから、3年が過ぎないと、食べられる実が成らない、柿においては、実を結ぶまでに、8年もの年月が必要ということから生まれた句。

「赤穂市立民俗資料館」へ行こう！！

城西小学校のすぐそばに、「赤穂市立民俗資料館」があります。

館内には、毎日の生活用具や農耕具はじめ、大工、桶、鍛冶といった職人の道具のほか、教科書や戦時資料、戦後復興の電化製品などの寄贈品を展示し、当時の生活を紹介しています。

…という堅苦しい話は抜きにして…、「ちょっと寄ってみる気持ち」で、ご活用ください。

